

Event! the 世界遺産

逗子鎌倉の中世遺産を考える会・講演会 「古都逗子・古都鎌倉の世界遺産登録」

「武家の古都・鎌倉」の範囲は、鎌倉市だけでなく、逗子、横浜に広がっており、名越切通や和賀江嶋は古都逗子の重要な世界遺産候補地です。古都逗子の歴史遺産を生かして、日本・世界や後世の人々に誇れる「古都逗子・鎌倉」のまちづくりを進めることについて、推進協議会広報部会長でもある内海恒雄さんに伺います。

とき 8月26日(日) 午前10時～11時10分 ところ 逗子文化プラザさざなみホール (TEL.046-870-6622)

定員 先着100名 参加費(当日)/1000円 主催/逗子鎌倉の中世遺産を考える会

共催/名越切通・巡礼古道保全の会 後援/逗子市教育委員会 鎌倉市教育委員会 鎌倉世界遺産登録推進協議会

申込/ハガキ、FAX、メールのいずれかで、住所・氏名・電話番号・お持ちの方はFAX番号を記入して下記までお送りください。

問合せ・宛先/〒249-0007 逗子市新宿3-8-19 森淳子 FAX. 046-872-9171 mail: erisa_jom@yahoo.co.jp

武家の古都・鎌倉シンポジウム 「ここまできた鎌倉の世界遺産登録」

平成11年から数えて17回目のシンポジウムは、世界遺産登録申請も間近い「武家の古都・鎌倉」の状況をお知らせし、理解していただくとともに実現へのご協力をお願いするための企画です。

とき 平成19年10月21日(水) 午後1時30分～4時30分 ところ 鎌倉商工会議所ホール(鎌倉市役所前)

◎基調講演「世界遺産登録の現状と鎌倉のいま」 講師/伊藤正義さん(鶴見大学教授、前文化庁主任文化財調査官)

◎シンポジウム パネリスト/伊藤正義さん 安西篤子さん(作家) 玉林美男さん(鎌倉市世界遺産登録推進担当)

コーディネーター/内海恒雄さん(市民の会推進委員、登録推進協議会広報部会長)

参加費(当日)/1000円 会員800円 学生500円 主催/鎌倉の世界遺産登録をめざす市民の会

共催/鎌倉世界遺産登録推進協議会

後援/鎌倉市 鎌倉市教育委員会

申込方法/往復ハガキ、またはFAXで、住所・氏名・電話番号・FAX番号を明記して、下記までお送りください。

宛先/〒248-0012 鎌倉市御成町9-1 鎌倉風致保存会内・鎌倉の世界遺産登録をめざす市民の会

FAX. 0467-23-6631 (TEL.0467-23-6621)

「武家の古都・鎌倉」世界遺産候補を作品に…美術・写真コンクール作品募集

美術部門は候補遺産24箇所の一つをモチーフとした、2色以内のデザイン又は単彩スケッチを、写真部門は候補遺産24箇所の一つを対象とした、カラーまたはモノクロ写真(デジタル加工は不可)を募集します。

主催/鎌倉世界遺産登録推進協議会 鎌倉市

企画・運営/鎌倉世界遺産登録推進協議会 美術・写真コンクール実行委員会 鎌倉市民文化祭企画運営委員会

お問合せ/鎌倉世界遺産登録推進協議会事務局(鎌倉市世界遺産登録推進担当内) TEL. 0467-61-3849(直通)

(応募方法、作品の搬入・搬出についての問合せ) 鎌倉市民文化祭企画運営委員会事務局(鎌倉市文化推進課内)

TEL. 0467-23-3000 内線2541

「鎌倉世界遺産登録推進に向けての中学生作文コンクール」

◎題 次のいずれかひとつ ①鎌倉の世界遺産登録について思うこと ②鎌倉と私

◎対象 鎌倉市内在住・在学の中学生

◎字数 1200字(400字詰め原稿用紙3枚)程度

◎作品提出方法と締切日 夏休み宿題提出日までに学校に提出 または9月14日(消印有効)までに下記宛郵送

主催/鎌倉市青少年指導員連絡協議会 共催/鎌倉世界遺産登録推進協議会

後援/鎌倉市 鎌倉市教育委員会 鎌倉市立中学校長会

宛先・問合せ先/鎌倉市青少年課 (〒247-0071 鎌倉市玉縄1-2 玉縄青少年会館 TEL. 0467-44-0487)

編集後記

第4号はまず推進協議会の平成19年度の総会を取り上げましたが、具体的な事業の取り組みも着々と進んでいることがわかり頼もしい限りです。早乙女貢さんの記念講演は、世界の世界遺産についての広い知識と見識を素晴らしいスケッチとともに披露され、大きな感銘を与えました。世界遺産の登録に大きな役割を果たすユネスコのイコモスの中心メンバーとして活

躍されてきた西村幸夫さんの講演は、世界文化遺産の考え方を最新の状況から説かれ、鎌倉のめざす方向がよく理解できました。それにしても話題となった世界遺産登録への「顕著な普遍的価値の証明」は「武家の古都・鎌倉」では、十分されつつあると確信していますが、いよいよ登録への正念場を迎えたようです。国や県と他市も含めた行政との連携を深めつつ、私たちの活動をより活発にしていきたいものです。＜広報部会長 内海恒雄＞